慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	『三田國文』総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication	1988
year	
Jtitle	三田國文 No.10 (1988. 12) ,p.73- 74
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara _id=AN00296083-19881200-0073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

原

	小本
	『両度聞書』から板本『両度聞書』
	から板本
石	両両
神	及 聞 書
秀	置へ
美	• •
物語』を中心に―	鏡花初期作品の執筆時期につ
松	ついて
村	
村 友 視	『白鬼女
視	龙女

創刊号 昭 58 1

西行の四国下向―大師遺跡巡礼歌群について 川 村

釈蓮禅と藤原周光の紀行唱和詩の成立時期に

うつは物語の**絵解**

小論

阪

井

芳

貴

宝徳元年本『僻案抄』 「羽衣」形成考

翻刻

三 石 神 村 昌 義 『風流線』の一考察―臣山五太夫のモデルに

秀 美

物語』を中心に一

松 村

透 ついてー

社会史と日常

Ш

稔

松

研吉郎

Ш

石

〈資料紹介〉

昭 60 3

秋 乃 子 常 磐 松 文 庫 蔵 奈良絵本『おちくほ』実践女子大学図書館 奈良絵本『おちくほ』

石

Ш

透

翻刻

Щ 岩

崎

良

―田山花袋と柳田国男― 泂 路 由 佳

昭61.6

田 叙 子 天皇霊の考察 第五号

経過

としてー

Ш 藤

上

新一郎

市古貞次氏蔵

田 博

幸

その一―折口名彙研究を主軸

〈資料紹介〉

奈良絵本「おちくほ」

翻刻

能因歌枕研究会編川 村 晃 生編 石 Ш

成炳禧本)

伸

(金宅圭・

〈資料紹介〉

下北の能舞にみられる三番叟

神

田

より子

以前の実隆―

石

神

秀

美

〈資料紹介〉

日本釋名」森立之書入れ本について

附「言元梯」「和訓六帖」——

関

武

校本

「能因歌枕

第六号

昭 61 12

顕昭略年譜

三条西実隆筆古今集聞書について―古今伝授

『拾遺風躰和歌集』続群書類従活字本の成立

佐

藤

道

生

近代戯曲史上の尾崎紅葉 玉葉和歌集恋歌の表現 億良における「士」の意識

中

Л

博

夫

紀行文の時代け

河回別神クッノリ台詞

『宗安小歌集』総索引

野

昭59・3

能因の末裔 青きまで白し一永仁七年書写源氏物語抄序説 池 田

藤原雅経年譜

武

藤

康

史

Ш 村 晃 利 4 夫

> 第四号 昭 60 10

美 芸能神河勝―その侏儒的要素―

扶 保元物語』 \equiv 村

昌

義

てー

天皇霊の考察

その二―記紀・続紀をめぐっ

津

田

博

幸

「延慶本」における天変地異と歴史的事件と 形成の一側面―多近久と仁和寺 須 藤 敬 『発心集』にみる聖の二類型―蓮花城と心戒

の連関性―辻風と大地震をめぐって― 久 松 宏

例としてー 『海やまのあひだ』論―「さびしさ」「かそ

昔話の叙述の展開とその構造―異類女房譚を 山 添 田 昭

全

透

特田 叙子 告話に見られる想像カー客人歓待伝説から隣 (資料) (資料) (資料) (大) (大)	題•翻刻 石川 透	の考	クス	ンデッ	折口信夫におけるライフ・イン
「ひそけさ」の生成について――――――――――――――――――――――――――――――――――――	天理図書館蔵『ふくろうのさうし』代紹介〉	mt-T-			昭 62
「ひそけさ」の生成について— 案 その一 星 野	中	武	777		
「ひそけさ」の生成について 案 その一 星 野 計 田 叙 子 昔話に見られる想像力 客人歓待伝説 特 田 叙 子 昔話に見られる想像力 客人歓待伝説 特 田 叙 子 昔話に見られる想像力 客人歓待伝説 2 の爺型の昔話へ 川 添 2 の爺型の昔話へ 川 添 2 を異が佩ける大刀」小論 中 川 博 夫 1 (資料紹介) 1 中 川 博 夫 2 (資料紹介) 2	中納言兼輔集』私注	計			岩
「ひそけさ」の生成について 案 その一 星 野 「ひそけさ」の生成について 案 その一 星 野 「ひそけさ」の生成について 案 を の命型の昔話へ 川 添れ歌集』成立時期小考 能因歌枕研究会編 「八十島かけて」考 川 村 見 生編 「八十島かけて」考 川 村 見 生編 「八十島かけて」考 川 村 見 大皇系譜と古事記の構造―潜在する叙字・1 一 関 場 武 〈資料紹介〉 大理八 本の型の昔話へ 川 添料で名。 大皇系譜と古事記の構造―潜在する叙字・2 一	林一		•		―『義経記』ノー
「ひそけさ」の生成について— 案 その一 是 野 「ひそけさ」の生成について— 案 その一 是 野 日 中 一 で で で で で で で で で	をめぐっ	•••			ノ
「ひそけさ」の生成について――――――――――――――――――――――――――――――――――――	口尚	直	Т	山	田
「ひそけさ」の生成について—	性と典拠資料についての考察―	4 1			私注
「ひそけさ」の生成について—	―その詞書	_			皆
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野	梶裕				の槍ーヤ
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野	時			浬	寺
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野 大生編 「八十島かけて」考 川 村 震津和郎と「洪水以後」 坂 本 廣津和郎と「洪水以後」 坂 本 廣津和郎と「洪水以後」 坂 本 廣津和郎と「洪水以後」 坂 本 下皇系譜と古事記の構造―潜在する叙	3				山家集』錯簡説をめぐっ
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 一川 添欠会編「八十島かけて」考 川 村産津和郎と「洪水以後」 坂 本 天皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 天皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 大皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 大皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 大皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 大皇系譜と 古事記の構造―潜在する 知	飛ヶ谷	史		津	野
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野	レディ	\# L			雲建が佩ける大刀」
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野	石川	-4-11			В 6
察 その一 星 野察 その一 星 野察 その一 星 野 ス 一 一	天理図書館蔵『落窪物語抄』解題・	**			召2
博夫 明 書	〈資料紹介〉	武	7//3	塭	_
天皇系譜と古事記の構造―潜在する叙 子 昔話に見られる想像力―客人歓待伝説叙 子 背話に見られる想像力―客人歓待伝説察 その一川 添 乗 その一 星 野 察 その一 星 野	島			Ш	中
窓会編 「八十島かけて」考 川 村窓会編 「八十島かけて」考 川 が 添型の昔話へ― 川 添 の 爺型の 昔話へ― 川 添 早 野 裏 その一 星 野	- 1				和歌集』成立時期小
究会編 「八十島かけて」考 川 村生 の爺型の昔話へ― 川 添叙 子 昔話に見られる想像力―客人歓待伝説 察 その一 星 野	坂 本 育		:	1	
の爺型の昔話へ― 川 添叙 子 昔話に見られる想像力―客人歓待伝説察 その一 星 野	考 川村晃	会生編	好晃 究	歌村	要語略索引
叙 子 昔話に見られる想像力―客人歓待伝説察 その一 星 野	川添裕	_			
察 その一 星 野 直	客人歓待伝説	子		Ħ	持
	その一 星野 直	nter	Ĭ	いて	けさ」「ひそけさ」の生成につ